

4回佐世保かちえて落語っ子

主催:佐世保かちえて落語実行委員会 共催:清水地区公民館

佐世保市内の小中高校生8人による落語会「かちえて落語っ子の会」が14日、保立町の清水地区公民館であり、軽妙な話術で会場の笑いを誘った。

同市出身の放送作家、海老原靖芳さんの呼び掛けで2010年に始まったプロの落語会「かちえて

笑いを誘う
軽妙な話術

初めての「高座」にドキドキ

佐世保 小中高校生8人が落語会

て落語会」の一環。子どもたちは海老原さんの指導で落語を練習し、プロの落語会で前座を務める。「落語っ子の会」は、けいこ場となっている同公民館への感謝の気持ちとお披露目の場として13年から毎年開き4回目。

8人は佐世保の土地や方言にちなみ、海老原さんが書き下ろした創作落語をそれぞれ披露。保護者ら約90人を楽しませた。初めて1人で「高座」に上がった市立大野小3年の佐々木雪乃さん(8)は「最後までやり切ることができて、うれしい」と話した。

「かちえて落語会」は22日午後4時から光月町の市コミュニティセンターで。問い合わせは実行委事務局(電0956・32・0888、平日)。(養川裕之)



軽妙な語り口で会場の笑いを誘う高校生

佐世保市、清水地区公民館